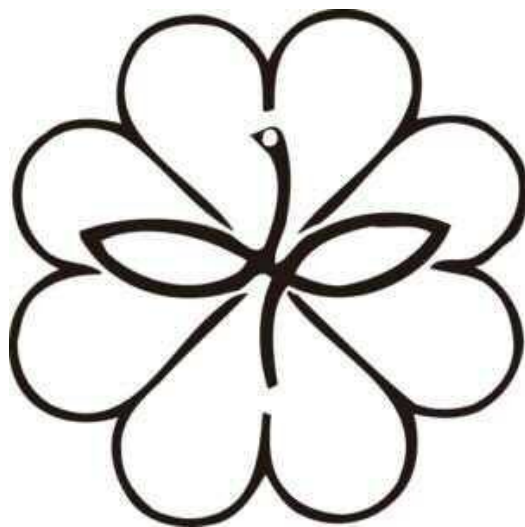


熱田区における民生委員・児童委員活動について



民生委員・児童委員のマーク

幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、
民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、
平和のシンボルの鳩をかたどり、愛情と奉仕を表しています。

民生委員・児童委員は、市民の暮らしを応援するため、国・名古屋市から委嘱を受けて、ボランティアとして活動しています。

地域の身近な相談相手として、地域を見守り、様々な困りごとを皆さんと一緒に考え、サポートしています。

民生委員・児童委員についてご紹介します。

1 民生委員・児童委員ってどんな人？

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱され、ボランティアとして活動する非常勤の公務員です。

すべての「民生委員」は「児童委員」も兼ねていて、子どもに関わる支援活動も行なっています。

「主任児童委員」という特定の区域を持たずに、子どもや子育て家庭に関する支援を専門に担当する委員もいます。

任期は3年で、令和元年12月1日に一斉改選が行われました。次回の一斉改選は令和4年12月1日になります。

人数は、市全体で民生委員が3,869人、主任児童委員が580人(ともに定数)、そのうち熱田区は民生委員が114人、主任児童委員が14人(ともに定数)です。
(令和元年12月1日一斉改選以降の定数)

2 どんな活動をしているの？

民生委員・児童委員は、地域住民の一員として、担当する区域で地域の方々の生活上の様々な相談に応じ、その解決に向けて一緒に考え、利用できる福祉サービスなどの情報提供や行政等の専門機関を紹介する『つなぎ役』です。

熱田区の民生委員・児童委員の皆さんは、「福祉に関すること」、「生活・健康に関すること」、「子育てに関すること」を中心に次のような活動を行っています。

熱田区の民生委員・児童委員の主な活動内容

1 ひとり暮らし高齢者をあたたかく見守る運動…全ての民生委員が取り組んでいます

65歳以上のひとり暮らし世帯、75歳以上の高齢者のみ世帯で見守りが必要な世帯を把握し、定期的な訪問を行い、高齢者の孤立を防止しています。

2 ふれあい給食サービス（給食会）…実質、民生委員が運営しています

コミュニティセンター等で共に食事をして、おしゃべりや交流を楽しむ食事会。コロナ禍では、テイクアウトや配食を実施しているところもあります。

3 ふれあい・いきいきサロン…一部の民生委員が携わっています

高齢者や障害のある方等が、近所の人や地域団体、ボランティア、NPO等と一緒にになって、コミセンなどの身近な場所に集まって、気軽に楽しい時間を過ごし、ふれあいを深める地域の皆さんの交流の場（高齢者サロン等）となっています。

4 地域支えあい事業…一部の民生委員が携わっています

地域福祉推進協議会を中心に、ご近所ボランティアコーディネーター（地域福祉活動推進員）を配置し、地域住民の皆さんとともに課題やニーズを発見します。

（例）生活支援（助けあい）の活動：ゴミ出し、買い物、電球の取換え等

安否確認・見守り活動：孤独感や孤立感の解消

5 赤ちゃん訪問…主任児童委員が取り組んでいます

概ね出生後3～7か月までの第1子及びその養育者を対象に、主任児童委員が家庭を訪問し、子育てに対する不安感や負担感の軽減を目的に実施しています。

6 子育てサロン…実質的に主任児童委員が取り組んでいます

乳幼児を対象。保護者同士の交流、保健師による育児相談等を行います。

7 行政への協力、各種組織との連携…全ての民生委員が携わっています

学区ごと（熱田区は7学区）に民生委員児童委員協議会を設置し、学区内の福祉課題や情報交換を行なっています。毎月1回、連絡事項伝達や情報交換のために会合を開いています。

また、民生委員・児童委員が受けた相談を必要な関係機関につなげられるように、市・区役所や社会福祉協議会、いきいき支援センターなど、各種組織と連携をとっています。



▲ふれあい給食会の様子



▲ふれあい・いきいきサロンの様子



▲地域支えあい事業の様子
(生活支援：電球の交換)

3 民生委員・児童委員の課題って？

民生委員・児童委員は、わが国独自の制度であり、平成29年には制度創設から100周年を迎えました。

名古屋市の民生委員制度においても、大正12年に方面委員が登場してから、名古屋の福祉とともに歩みを重ね、平成25年に90周年を迎えました。

この間、時代の変遷の中で、民生委員・児童委員は社会福祉事業の推進役として、民生の安定と福祉の向上のために努力を重ねていただきました。

近年、社会経済状態は大きく変化し、地域のつながりの希薄化や市民の皆さんが直面する課題の複雑化・多様化に伴い、民生委員・児童委員の皆さんが抱えている課題も変化しています。次に熱田区の民生委員・児童委員の皆さんからお聞きした課題を挙げます。

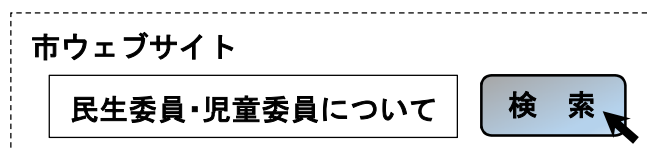
【課題】

(1) 周知不足

民生委員を知っている方は多いと思いますが、その「役割」や「活動内容」までご存知の方は少ないと思います。より多くの皆さんに民生委員について知っていただくことで、民生委員の活動がやりやすくなる面もあると思います。

昨年の夏から、全国民生委員児童委員連合会が「隣の委員さん」というテレビCMを始めました。CMでは、「クラスに学級委員がいるように、あなたの町には民生委員・児童委員がいます。」とわかりやすく伝えていきます。テレビCMが流れたら、皆さんも興味を持って見てほしいと思います。特に若い方々にもぜひ関心を持っていただきたいです。

また、名古屋市のホームページでも、動画や紹介用パンフレット（データ）で民生委員・児童委員活動を紹介しています。ぜひご覧ください。



(2) なり手不足

平成10年からの20年間で、全国の民生委員の定数は21万人余りから23万人余りへと増加した一方、欠員率（定数に対する欠員の割合）も増加傾向にあり、なり手不足が深刻化しています。

熱田区でも主任児童委員は定数を満たしていますが、民生委員は7人の欠員となっています（令和4年1月1日現在）。

3年に一度の一斉改選の際には、一定数の方がお辞めになります。その後任を探すのも大変な状況です。名古屋市では、年齢条件を緩和するなどの取組み（原則再任者は75歳未満とするが、75歳以上でも一定条件を満たせば、限定的に1期のみ再任は可能）を行っていますが、十分ではありません。

今後も、行政は民生委員活動のPRを行なうとともに、活動内容の負担軽減にも努めるなど、少しでもなり手不足の解消に繋がるよう配慮することが重要だと思います。

4 最後に

これからも、地域における福祉の担い手として、民生委員・児童委員の皆さんに対する期待は大きいものがあります。

コロナ禍で訪問活動が十分にできない、個人情報保護の徹底を求められる中で十分な活動ができないなど、社会状況の変化に伴い、民生委員・児童委員の活動内容も変化を求められています。

私ども行政としても民生委員・児童委員の皆さんが活動しやすいように、今後もサポートしていきたいと思っています。

★名古屋市民生委員児童委員連盟熱田区支部 石田ゆり子支部長より

私は、主任児童委員、民生委員・児童委員として、子どもたちや高齢者の方など多くの身近な方たちに支えられて、30 有余年過ごしてきました。

皆さんの「ありがとう。」の言葉に後押ししていただき、これまで頑張ってくることができました。

民生委員・児童委員に求められることは、“人”と関わることだと思います。ここ最近、新型コロナウイルスの影響で、高齢者の方々の暮らしも見えにくくなってきましたが、いろいろな方々と触れ合うことは、貴重な財産になると思います。

これまでの活動の中で楽しかったときは、委員みんなで一つのことをやり遂げた後、ホッと安心した瞬間です。また、活動を通じてその人を深く知ることで、今まで知らなかった一面を見つけることができたときも、喜びを感じます。

これからどれだけの方たちと出会えるかわかりませんが、民生委員・児童委員として、高齢者の方々をはじめとする地域の皆さんを見守り、支えていきたいと思っています。よろしく願いいたします。



▲石田 ゆり子 熱田区支部長